# Startup Guide

スタートアップガイド

856-126855-005-00 2007年4月 初版

箱を開けてから本装置の初期設定を完 了するまでの手順を説明します。 このスタートアップガイドに従って作 業してください。

# 

© NEC Corporation 2007 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

ています)

● 使用上のご注意

スタートアップガイド(本書)

このマニュアルは再生紙を使用しています。

## 添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品がそろっていることを確認してください(ご注文の構成により、下記 以外の添付品が同梱されている場合があります)。

- 雷源コード
- フロントベゼル ● セキュリティキー(フロントベゼル
- 内側に貼り付けられています) ● ラック搭載用取り付け部品

(ステップ4を参照)

- ソフトウェアパッケージー式 保証書(本体梱包箱に貼り付けられ (バックアップCD-ROM含む)
- EXPRESSBUILDER CD-ROM\* SystemGlobe DianaScope
- Additional Server Licence(1) (DianaScopeのライセンス)
- お客様登録申込書

▲ 添付のCD-ROMおよびインストール/初期設定導入設定用ディスクは、再セットアップの時

\* EXPRESSBUILDER CD-ROMの中には「ユーザーズガイド」や各種オンラインドキュメントも格納されてい ます。ユーザーズガイドやオンラインドキュメントはAdobe Readerで閲覧できるPDFファイルです。

## ユーザーズガイドを読む

ユーザーズガイドはバックアップCD-ROMの中に格納されています。ユーザーズガイドは Adobe Readerで閲覧できるPDFファイルで、次のHTMLファイルから表示させることができます。

<バックアップCD-ROM>:/manual.html

**▲重要 に必要となりますので大切に保管しておいてください。**

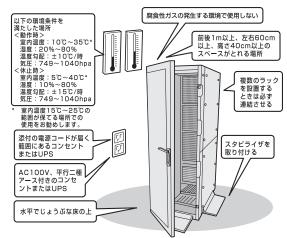
ユーザーズガイドでは、本装置を安全に取り扱うための注意事項や Startup Guideでは記載されていないセットアップに関する詳細な 説明、運用やアップグレードに関する説明が記載されています。ま た、「故障かな?」と思ったときのトラブル回避の手段やサービスに 関する情報も記載されています。本装置を取り扱う前にぜひお読み ください。



以/, PDFファイルを閲覧するためには、Adobe Reader 日本 語版が必要です。Adobe Readerはアドビ社のWebサイト ✔Eント から無償でダウンロードすることができます(http:// www.adobe.co.jp) .

製本されたユーザーズガイドが必要な場合は、もよりの販売店、またはお買い求めの販売店 にお問い合わせください。また、ユーザーズガイドは、NECのWebサイトからダウンロード することができます(http://nec8.com/ → [サポート情報]をクリックしてください)。

### ラックを設置する 本体はEIA規格に適合した19型 (インチ)ラックに設置して使用します。ラック に設置する場合は、次の条件を守ってラック を設置してください。



### /! 安全に関するご注意

装置をセットアップする前に「ユーザーズガイド」の 「使用上のご注意 - 必ずお読みください - 」

をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。

- ぬれた手で電源ブラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
  内蔵型オブションの取り付け・取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。
  雷が鳴り出したらケーブル類を含め装置に触らないでください。落雷による感電のおそれがあります。
- 「ユーザーズガイド」に記載されている内容を除き、分解・修理・改造を行わないでください。

- 持ち運びの際は2人以上で装置の底面をしっかりと持って運んでください。● 水、湿気、ほこり、油、煙の多い場所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。● 装置に添付されている電源コード以外を使用しないでください。
- 電源コードは指定の電圧、コンセントに接続してください。
- 電源コードはタコ足配線にしないでください。

## 本体を設置する

本体をEIA規格に適合した19型(イ ンチ)ラックに設置します。 (プラスドライバ・マイナスドライバが必要)

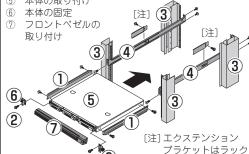
#### 取り付け部品の確認

- ① マウントブラケット ⑥ フロントベゼル
- ② マウントホルダー(L) ⑦ コアナット
- ③ マウントホルダー(R) ⑧ ネジA(M4, 6mm)
- ④ サポートブラケット ⑨ ネジB(M3, 6mm)
  - ⑪ ネジC(mネジ M3 6mm)
- ⑤ エクステンション ブラケット
  - ① ネジD(M5, 10mm)



#### 作業の流れ

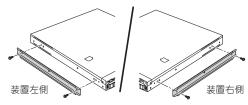
- マウントブラケットの取り付け
- マウントホルダーの取り付け
- コアナットの取り付け サポートブラケットの取り付け
- 本体の取り付け



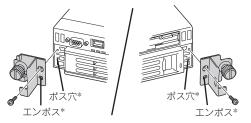
#### ラックの設置や本体の取り付けは必ず **●重要 複数名で行ってください。**

の奥行きが700mm以

1 マウントブラケットのネジ穴と本体側面のネ ジ穴を合わせ、ネジA(各2本)で固定する。

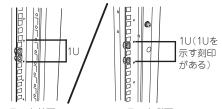


2 ネジB(各1本)でマウントホルダーを取り付け



、それぞれのエンボスをボス穴にはめ込んでください。

3 本体を取り付ける位置(高さ)を確認してからコ アナットをラックフレームのスロット(角穴)に 取り付ける(前面/背面とも片側に2個ずつ)。



ラック前面 ラック背面 (1U間にある3つのス (1U間にある3つのスロットの ロットのうち上と中央 うち上と下に取り付ける)

コアナットはラック内側からマイナスドライバなどでコ アナットのクリップをスロットに引っかけてください。

4 <ラックの奥行きが700mm以上の場合のみ>

① マウントブラケットを引き ② エクステンションブラ 延ばし、分解する。 ケットをブラケットB に差し込む。 ブラケットB (マウントブラケット

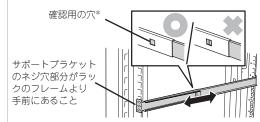


(マウントブラケット・ ツメに引っかかるまで の外側のブラケット): 差し込む

③ エクステンションブラ ケットをネジC(1本)で 固定する。

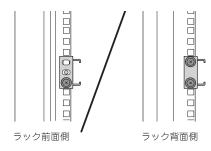


コアナットを取り付けた位置にサポートブラ ケット前後のフレームを合わせる。



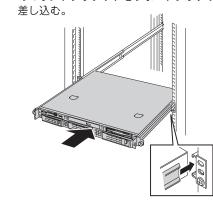
\* サポートブラケットの連結部分にある穴がもう一方の サポートブラケットでふさがれていることを確認して ください。少しでも隙間がある場合は、エクステン ションブラケットを取り付けてください。隙間が見え る状態ではサポートブラケットの連結部分の強度が維 持できません。力が加わると連結部分が外れてしまう おそれがあります。

6 サポートブラケットを支えながらネジD(左右 各3本)で固定する。



- コアナットのネジ穴がサポートブラケットの ネジ穴の中央に位置するように固定してくだ
- 装置を搭載したときに上下に搭載されている 装置とぶつかる場合は、取り付け位置の調整 が必要になります。

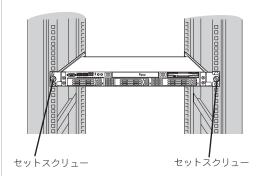
7 本体前面が手前になるように持ち、本体側面 のマウントブラケットをサポートブラケットに



● 取り付けは1人でもできますが、なるべく複数 名で行うことをお勧めします。

● 本体の上下に搭載されている装置とぶつかる場 合は、いったん本体を取り出して、サポートブ ラケットの固定位置を調整してください。

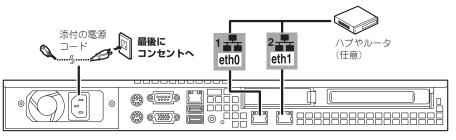
8 本体の前面をゆっくりと押してラックへ完全 に押し込み、セットスクリューでラックに固定



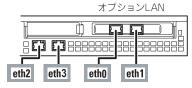
## ケーブルを接続する

本体背面にLANケーブルを接続した後、添付の電源コードを接続します。ユーザーズガイド の2章を参照してください。

● LANポート1を必ず運用時のネットワークに接続してください。初期導入時のセット アップでは、LANポート1(システムからはethOポートとして扱われます)を使用して セットアップを進めます。LANポート2(eth1)は初期導入のセットアップを完了後、 Management Consoleの[システム]→[その他]→[ネットワーク]で設定できる拡張用 ポートです。



● オプションLANボードを増設した場合、右図の ように増設したLANボードがethO、1として認 識されます(内蔵のLANボードはeth2、eth3に なります)。



引き続きシステムのセットアップをします。裏面をご覧ください。ᅟᅟᅟᅟᅟᅟᅟᅟᅟᅟᅟ

## 初期導入設定情報を作成する

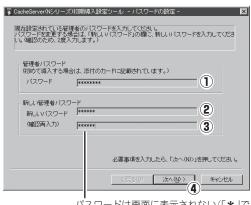
本装置をインターネット装置として運用するために最低限必要となる設定情報が保存された ディスクを作成します。添付の「インストール/初期導入設定用ディスク」とWindows XP/2000が動 作するコンピュータを用意してください。詳しくはユーザーズガイドの3章を参照してください。

- **1** Windowsマシンを起動する。
- 2 フロッピーディスクドライブに添付の「インストール/初期導入設定用ディスク |をセットする。 インストール/初期導入設定用ディスクはライトプロテクトされていない状態にしてください。
- 3 エクスプローラなどからフロッピーディスク M35 インチ FD (4) ドライブ内の「初期導入設定ツール (CSNConf.exe) |を起動する。

初期導入設定ツールが起動します。ツールは ウィザード形式で進みます。入力した内容が 間違っている場合は先に進めません。警告 メッセージに従って入力内容を確認・修正し てください。

- 4 管理PCから本装置にログインする際のパス ワードを設定する。
  - ① 初めて設定する場合は本装置に添付の 「管理者用パスワード」に記載されたパス ワードを入力する。
  - **②** adminでログインする場合のパスワード を設定する。
  - 3 ②で入力したパスワードを入力してパ スワードの確認をする。
  - 4 [次へ]をクリックして次に進む。





パスワードは画面に表示されない(「\*」で 表示される)ため、タイプミスのないよう に注意する

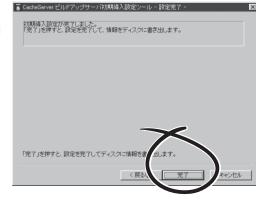
5 ネットワークの設定をする。

ここで設定する情報はLANポート1(システム からはethOポートとして扱われます) に対す るものです。LANポート2(eth1)は初期導入 のセットアップを完了後、Management Consoleの[システム]→[その他]→[ネット ワーク]で設定できます。オプションLANボー ドを増設した場合、増設したLANボードが eth0として認識されます(内蔵のLANボード はeth1とeth2になります)。

- タイプミスのないように各値を入力する。
- 2 セカンダリネームサーバが存在する場合 のみ入力する。
- (3) 「次へ]をクリックして次に進む。
- 6 [完了]をクリックする。

入力した内容がインストール/初期導入設定用 ディスクに書き込まれます。設定完了のメッ セージが表示されるまでフロッピーディスク ドライブから取り出さないでください。

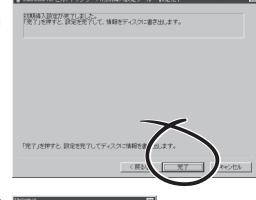
設定内容を変更したいときは、[戻る]をク リックしてください。



7 [OK]をクリックし、インストール/初期導入設 定用ディスクをフロッピーディスクドライブか ら取り出す。

インストール/初期導入設定用ディスクは再 セットアップの際にも使用します。大切に保管 してください。





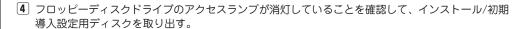
設定を初期導入設定用ディスクに保存しました。 (クライアントのアクセス制限はManage 設定することができます)

## 初期導入設定情報をロードする

インストール/初期導入設定用ディスクの内容を本体にロードして初期セットアップをしま す。詳しくはユーザーズガイドの3章を参照してください。

- 1 本装置のLANポート1コネクタ(eth0)とネッ トワーク環境として使用するハブにLANケー ブルが接続されていることを確認する。
- 2 ステップ6で作成したインストール/初期導入 設定用ディスクがライトプロテクトされてい ないことを確認して、本体のフロッピーディ スクドライブにセットする。
- 3 本体の電源をONにする。

セットアップを開始します。2~3分ほどで完 了します。

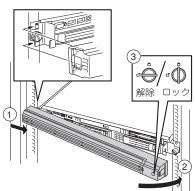


セットアップに失敗した場合はビープ音を鳴らした後、自動的に電源がOFF(POWERランプ消灯) になります。その場合は、Windowsの「メモ帳」などを使ってインストール/初期導入設定用ディス クに書き出されるログファイル「logging.txt」を開いてエラーメッセージを確認し、トラブルの解決 を試みてください。

エラーメッセージの意味については、ユーザーズガイドの3章[システムのセットアップ]-「セット アップに失敗した場合」を参照してください。それでも解決できない場合は保守サービス会社にお問 い合わせください。

5 添付のフロントベゼルを取り付けてセキュリ ティキーでロックする。

セキュリティキーは大切に保管してくださ い。



LANポート1コネクタ(eth0)

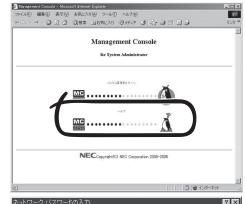
LANポート2コネクタ(eth1)

' 🗀 ========

## システムにログインする

クライアントPCのWebブラウザからネットワークを介してシステムにログインします。詳 しくはユーザーズガイドの4章を参照してください。

- 「1」 クライアントPC上でWebブラウザを起動する(Webブラウザは、Microsoft Internet Explorer 5.5 SP2(日本語版) · Microsoft Internet Explorer 6(日本語版)<推奨> · Netscape Communicator 7.0以降(日本語版)のいずれか)。
- 2 Webブラウザの設定を確認する(「プロキシを経由させない |・「キャッシュ機能を使用しない |)。
- 3 「アドレス(または場所など)」に「https://<本 装置に割り当てたIPアドレスまたはFQDN>: 50453/」と入力する。
- 4 [システム管理者ログイン]をクリックする。



5 ユーザー名に「admin」、パスワードにはセッ トアップ時に指定した管理者パスワードを入

管理者用のトップページが表示されます。



## 各種セットアップをしてシステムをアップデートする

Webブラウザに表示された画面からさまざまなシステム設定ができます。詳しくはユーザー ズガイドの4章を参照してください。

プロキシサーバの状態確認や設定、フィルター設定、 スケジュールダウンロード設定をする -時刻調整やSNMPを使った管理機能の設定。 telnetログインやWPADサーバの設定をする --アプリケーションのアップデートやソフトウェア のインストールをする ---

システムのシャットダウン/リセットや状態表示、 その他詳細設定をする --

ログイン時のセキュリティ設定やアクセスを許可 する待ち受けIPの制限をする



基本サポートサービスを購入済みのお客様は、認証を行うこで購入者のみに公開されているアップデートモジュールを通することができます。未購入のお客様は「認証しない」をクリッしてください。

送信 認証しない



本装置のシステムを最新の状態にアップデートします(購入時のシステムバージョンによってはアップ デートをする必要がない場合もあります)。詳しくはユーザーズガイドの4章を参照してください。



■ ユーザ 認証

お客様番号: 登録上の分類(1~

パフロード・

取得用 proxy アドレス:

取得用 proxy ポート:

2 [オンラインアップデート]をクリックする。

3 [ユーザ認証]に必要な項目を入力し、[送信] をクリックする。

基本サポートサービスを購入された場合のみ 入力してください。サービスを購入していな い場合は、何も入力せずに[認証しない]をク リックしてください。

公開されているアップデートモジュールの一 覧が表示されます。モジュールを選択して[適 用]をクリックしてください。以降がメッセー ジに従って操作してください。

**1 ()** NTPの設定をする

キャッシュデータの有効期限の判定が正 確に行えない場合がありますので、プロキシサーバ 本体を含めたシステム全体の時刻同期、NTPの設定 をお勧めします。Management Consoleのトッ プページから[サービス]をクリックします。

	Welcome to Men	gement Como	le		ŋ-	£2.	GIM:
BUALL	サービス						Est
7049		■ サービ	2				
B B 1997-9		0S 82,8949 (738,99)	現在の	GORAN	种业	サービス	
E 9274						[vtmSu/e	
Consti		2340 ×	RMP	[WE46	19 £	ESMPRO .	
		伸上 ×	停止中	[854b]	伊止	HOURS (visit)	
		asab w	起師中	再起動	伸上	ネットワーク管理エージョントGroupd)	
		2540	起動中	(RESSE	停止	UE-ERS/Colehets	
		Elab ~	停止中	B4t	停止	Spatish-page/21-t/GAGW	
					IF		
	NEC						

表示された画面より「時刻調整(ntpd)] をクリック すると、設定画面が表示されますので、設定を行 います。

	e - Hisrasoft Internet Explorer	
	6740 BMCANA) 9~800 A8740	- 4
@#3 · ⊕ ·	N 2 6 Per Strucko ⊕ S N m· □ 11 13	
The same	Ricorne to Management Conscie	® Informatio
2 S ' }	時別類整6/1047	
D2.049.88	ユービス > 時を開催をゆか	[2016]
2000 2000	(回答を)  1	
les-corre	2007 # 3 J 20 B 17 M 22 % 50 B RG	
	NECCopyright 01 NEO Corporation 2000-2000	
前 ペークが表示されました		<b>⊕</b> (2/2-20)

## ESMPRO/ServerAgentの設定をする

本体の状態を監視するソフトウェア「ESMPRO/ServerAgent」がインストール済みで す。ファンやマザーボード、ハードディスクドライブ、本体の温度などを監視するこのソフトウェアの 設定(しきい値やイベントの通報先)をします。

詳しくは、バックアップCDにあるESMPRO/ServerAgentユーザーズガイドを参照してください。 <バックアップCD-ROM>:/nec/Linux/esmpro.sa/doc/users.pdf

接続に使用するクライアントマシンによっては罫線が文字化けすることがありますが、それぞれの機能 は問題なく動作します。

## 管理コンピュータのセットアップをする

本装置をネットワーク上から管理・保守するソフトウェアを管理コンピュータにインストー ルします。ソフトウェアは、本体に添付の「EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROM」に含まれていま す。管理コンピュータのCD-ROMドライブに「EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROM」をセットす ると表示される「マスターコントロールメニュー」からそれぞれインストールすることができます。詳し くはユーザーズガイドの2章または5章を参照してください。

以上で完了です。